

人口	約194万人
市町村数	42
面積 (km ²)	約10,621

岐阜県 実証事業の概要 ①連携プラットフォーム（PF）の概要

目指す姿

県、市町村、NPO等の支援団体間の「連携強化」、横断的な「情報共有」、包括的な「情報発信」を行うことを目的に、官民連携での活動、情報共有、情報発信等を行うためのプラットフォームを目指す。

岐阜県孤独・孤立対策官民連携プラットフォーム

プラットフォーム会議

幹事団体

岐阜県民生委員児童委員協議会
 岐阜市
 神戸町
 岐阜市生活・就労サポートセンター
 一般社団法人よりそいネットワークぎふ
 特定非営利活動法人ぎふNPOセンター
 岐阜県ひとり親家庭等就業・自立支援センター
 一般社団法人岐阜県助産師会
 一般社団法人ぎふ学習支援ネットワーク
 特定非営利活動法人岐阜いのちの電話協会
 社会福祉法人岐阜県社会福祉協議会
 岐阜県

※岐阜県地域福祉課が事務局となり、PF全体の運営・企画、幹事団体の候補選定、一般団体の募集・審査を実施。

【幹事団体の機能】

- 1 PF活動の「企画」
- 2 PF活動の「周知・発信」
- 3 PF活動の「検証」
- 4 県の孤独・孤立対策への提言
- 5 規定や幹事団体の決定

プラットフォーム会議が中心となって企画したPFでの取組への参加を呼びかけ

PFでの取組への参加

一般団体

公募により選定（選出方法は下記の通り）。

プラットフォーム会議メンバーを除き、全市町村40、全市町村社協42、NPO等支援団体70の計152団体が参画。
 （3月9日時点）

【一般団体の機能】

- 1 連携した支援の提供
- 2 連携事業の実施や分科会への参加
- 3 分野横断的な情報共有
- 4 孤独・孤立の情報発信

必要に応じて
次年度以降具体化

分科会

分科会

- 1 ネットワーキング（連携強化）
- 2 現場情報の共有、課題解決に向けた事業の実施

PF形成の工夫①

県内の中核的支援団体の巻き込み

PFに主体的に参画し、提言する能力を有する県内の主要な市町、中核的な支援団体を幹事団体として県が選定。
 PF活動等への積極的な参画、知見や発信力の発揮を期待。

PF形成の工夫②

県内の全市町村を巻き込み

県内の市町村と定期的に意見交流会や国の動向等の共有を行い、協力的な関係を構築。一般団体の応募には市町村からの推薦も受けており、PFでのスムーズな連携を期待。

PF形成の工夫③

スピード感をもってPFの役割、機能、運営方法を検討

幹事候補団体がPFの役割、機能、運営方法の検討段階から参画。
 限られた期間での役割、機能に関するスムーズな合意、PF立ち上げが実現。

PF形成の工夫④

機動的に取り組む課題については分科会を設置（予定）

特定の分野・テーマに機動的に取り組めるよう分科会を設置予定。関連する団体の密な連携を図り、官民の連携強化、課題解決に向けた具体的な取組へとつなげることを目指す。

岐阜県 実証事業の概要 ②孤独・孤立対策の概要

2022年度に実施した孤独・孤立対策

目的 支援スキルの習得・強化

支援を届けるための研修

時期	2023/2/6 14～16時
対象者	県関係課職員や市町村職員（主に福祉分野）、民生委員（市町村民児協会長など）、NPO等の職員
内容	<ul style="list-style-type: none"> 孤独・孤立問題の概要や孤独・孤立に悩む方への接し方、具体的な支援に繋げるための心がけなど、基本的な知識を提供。 講師： 認定NPO 法人自立生活サポートセンター・もやい 理事長/内閣官房孤独・孤立対策担当室 政策参与 大西連氏 一般社団法人ぎふ学習支援ネットワーク代表理事/岐阜大学地域科学部准教授 南出吉祥氏
効果	孤独・孤立に悩む方を支援する職員など約200名参加。 事後アンケートから、孤独・孤立問題の本質や、相談・支援に携わる際に配慮すべきことなどが理解できたとの反応が多く見られた。

目的 県内の孤独・孤立の実態把握、関係各所への情報共有

孤独・孤立実態調査の実施

時期	2022/12～2023/2
対象者	岐阜県内在住者5,000人
概要	<ul style="list-style-type: none"> WEBアンケート形式 国の「人々のつながりに関する基礎調査」と同一の設問

2023年度以降の活動計画

①プラットフォーム会議の開催

- PFの活動方針や県施策などへの提言。
- 参加団体による連携事業や分科会のテーマについての検討。

②参加団体間の活動支援

- 参加団体同士が連携した支援の提供、情報交換の実施、ノウハウ共有などをサポート。

③分科会の設置・開催

- プラットフォーム会議等での検討結果を踏まえて分科会を設置。

目的 岐阜県における孤独・孤立対策の方向性の検討

第1回PF会合の開催

時期	2023/2/27 10～11時
場所	岐阜県庁内
参加者	PF幹事団体（※前頁参照）
協議事項	<ul style="list-style-type: none"> 岐阜県孤独・孤立対策官民連携プラットフォームの概要 加入団体の紹介 岐阜県の孤独・孤立実態把握調査結果 支援を届けるための研修の実施結果 意見交換



目的 孤独・孤立対策推進の周知

マスメディアによる周知

周知方法	第1回PF会合を報道機関が取材。
効果	<ul style="list-style-type: none"> 岐阜新聞、中日新聞、読売新聞、NHKで紹介。

目的 相談窓口へのアクセス改善

既存の支援策や相談窓口一覧の効果的な掲載方法に関する検討

今後の岐阜県ホームページの改編に向けて、現在ホームページに掲載している支援策や相談窓口の掲載方法について、課題や、アクセスのしやすさの観点からの整理方策を検討した。

岐阜県 実証事業の概要 ③ 試行的事業の概要

試行的事業の名称	事業内容	期待される効果	実施時期	発注先	費用（税込）
孤独・孤立実態調査	県内在住者5,000人を対象としたWEBアンケート、レポート	<ul style="list-style-type: none"> 圏域別の孤独・孤立の実態把握、関係各所への情報共有 	2022/12～ 2023/2	マクロミル	7,086千円
連携プラットフォーム構成員による意見交換会	県内の支援団体等との連携プラットフォームに関する意見交換	<ul style="list-style-type: none"> 連携プラットフォームの機能、運営方法等に関する関係団体との協議 	2022/12	—	—
効果的な相談支援策等の周知	県ホームページの改修に向けた検討	<ul style="list-style-type: none"> 支援策や相談窓口一覧の効果的な掲載方法に関する検討 	2022/11～ 2023/2	—	—
アウトリーチ型支援の強化	市町村職員、NPO職員、民生委員等を対象にした研修	<ul style="list-style-type: none"> 支援が必要な人を的確に支援につなげるためのスキルの習得 	2023/2/6	エクシード東京	1,150千円 ※発注先への支払いのほか、登壇者の謝金を含む